MACsec の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスに MACsec を設定する手順について説明します。

MACsec について

Media Access Control Security（MACsec）である IEEE 802.1AE と MACsec Key Agreement（MKA）プロトコルは、イーサネットリンク上でセキュアな通信を提供します。次の機能があります。

- ライン レート暗号化機能を提供します。
- レイヤ 2 で強力な暗号化を提供することで、データの機密性を確保します。
- 整合性チェックを行い、転送中にデータを変更できないことを保証します。

- 中央集中型ポリシーを使用して選択的に有効にでき、MACsec 非対応コンポーネントがネットワークにアクセスできるようにしながら、必要に応じて適用することができます。
- レイヤ 2 ではホップバイホップ ベースでパケットを暗号化します。これにより、ネットワークは、既存のポリシーに従って、トラフィックを検査、モニタ、マーク、転送できます（エンドツーエンド レイヤ 3 暗号化技術とは異なり、パケットの内容をネットワークデバイスから非表示にします）

キー ライフタイムおよびヒットレス キー ロールオーバー

MACsec キー チェーンには、キー ID とオプションのライフタイムが設定された複数の事前共有キー（PSK）を含めることができます。キーのライフタイムでは、キーがいつ有効になり、いつ期限切れになるかが指定されます。ライフタイム設定が存在しない場合は、無期限のデフォルト ライフタイムが使用されます。ライフタイムが設定されていて、ライフタイムの期限が切れると、MKA はキー チェーン内で次に設定された事前共有キーにロール オーバーします。キーのタイム ゾーンは、ローカルまたは UTC を指定できます。デフォルトの時間帯は UTC です。

MACsec キーチェーンを設定するには、MACsec キーチェーンとキーの設定 （9 ページ）を参照してください。

（キーチェーン内で）2 番目のキーを設定し、最初のキーのライフタイムを設定することで、そのキーチェーン内の 2 番目のキーにロールオーバーできます。最初のキーのライフタイムが期限切れになると、リスト内の次のキーに自動的にロールオーバーします。同一のキーがリンクの両側で同時に設定されていた場合、キーのロール オーバーはヒットレスになります。つまり、キーはトラフィックを中断せずにロールオーバーされます。

フォールバック キー

MACsec セッションは、キー/キー名（CKN）のミスマッチで、またはスイッチとピア間のキーの期限が切れて、失敗する可能性があります。MACsec セッションが失敗した場合、フォールバック キーが設定されていれば、フォールバック セッションが引き継ぐことができます。フォールバック セッションは、プライマリ セッションの障害によるダウンタイムを防止し、ユーザが障害の原因となっている主要な問題を修正できるようにします。フォールバック キーは、プライマリ セッションの開始に失敗した場合のバックアップ セッションも提供します。この機能はオプションです。

MACsec フォールバックキーを設定するには、MACsec フォールバック キーの設定 （12 ページ）を参照してください。

MACsec のライセンス要件

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	MACsec にはセキュリティ ライセンスが必要です。Cisco NX-OS ライセンス スキームの詳細と、ライセンスの取得および適用の方法については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』を参照してください。

MACSec の注意事項と制約事項

MACsec に関する注意事項と制約事項は次のとおりです。

- Cisco Nexus リリース 10.2(1) 以降、MACsec は Cisco Nexus N9K-X9716D-GX でサポートされます。
- Cisco Nexus リリース 10.1(1) 以降、MACsec は Cisco Nexus N9K-C9336C-FX2-E でサポートされます。
- MACsec は、次のインターフェイス タイプでサポートされます。
  - レイヤ 2 スイッチポート（アクセスとトランク）access and trunk)
  - レイヤ 3 ルーテッド インターフェイス（サブインターフェイスなし）

（注） レイヤ 3 ルーテッド インターフェイスで MACsec を有効にすると、そのインターフェイスで定義されているすべてのサブインターフェイスでも暗号化が有効になります。ただし、同じレイヤ 3 ルーテッド インターフェイスのサブインターフェイスのサブセットで MACsec を選択的に有効にすることはサポートされていません。

  - レイヤ 2 およびレイヤ 3 ポート チャネル（サブインターフェイスなし）
- Cisco Nexusリリース10.2（1）F以降では、Cisco Nexus 9000 ToRスイッチのMACSecセキュリティタグ（SecTAG）からセキュアチャネル識別子（SCI）を無効にできます。
  - FX2 および FX3 プラットフォームでサポートされています。
  - XPN暗号スイートを使用するFXプラットフォームでのみサポートされます。
- Cisco Nexus ToR スイッチを Cisco NX-OS リリース 9.3.7 から Cisco NX-OS リリース 9.3.6 以前のリリースにダウングレードする場合、MACsec はサポートされません。

- MKA は、MACsec でサポートされている唯一のキー交換プロトコルです。Security Association Protocol（SAP）はサポートされていません。
- リンクレベルフロー制御（LLFC）およびプライオリティフロー制御（PFC）は、MACsec ではサポートされません。
- 同じインターフェイスに対する複数の MACsec ピア（異なる SCI 値）はサポートされません。
- **macsec shutdown** コマンドを使用して MACsec を無効にすると、MACsec 設定を保持できます。
- MACsec セッションは、最新の Rx および最新の Tx フラグが Tx SA のインストール後に最初に廃止されたキーサーバからのパケットを受け入れるのに寛容です。MACsec セッションは、セキュアな状態に収束します。
- Cisco NX-OS リリース 9.2(1) 以降では、次の設定が可能です。
  - ポリシーがインターフェイスによって参照されている間に、MACSec ポリシーを変更できるようにします。
  - ブレークアウト ポートの異なるレーン間で異なる MACsec ポリシーを許可します。
- Cisco Nexus リリース 9.2(1) 以降、MACsec は Cisco Nexus 93180YC-FX および Cisco Nexus 3264C-E スイッチでサポートされます。
- Cisco Nexus リリース 9.3(1) 以降、MACsec は Cisco Nexus N9K-C9364C、N9K-C9332C、および N9K-C9348GC-FXP プラットフォーム スイッチでサポートされます。これらのスイッチで MACsec を使用する場合は、次の制限が適用されます。
  - N9K-C9364C：MACsecはN9K-C9364C の次の 16 ポートでサポートされ、緑色でマークされます（ポート 49 ー 64）。
  - N9K-C9332C：MACsec は N9K-C9332C の次の 8 ポートでサポートされ、緑色でマークされます（ポート 25 ー 32）。
  - N9K-C9348GC-FXP：MACsec は、N9K-C9348GC-FXP の次の 6 ポート（ポート 49 ー 54）でサポートされます。

（注） Cisco N9K-C9364C および N9K-9332C プラットフォーム スイッチでは、MACsec がポートで設定または未設定の場合、MACsec セキュリティポリシータイプに関係なく、ポートフラップが発生します。

- Cisco Nexus リリース 9.3(1) 以降では、ポートチャネル インターフェイスに MACsec 設定を直接適用することはできません。ただし、MACsec 設定をポートチャネル メンバー ポートに直接適用できます。これは、スタンドアロンと VPC ポート チャネルの両方に適用されます。

- Cisco NX-OS リリース 9.3(1) では、Cisco Nexus 9332C および 9364C シリーズ スイッチでは EAPOL 設定はサポートされていません。
- Cisco Nexus リリース 9.3(3) 以降、MACsec は Cisco Nexus 93216TC-FX2、Cisco Nexus 93360YC-FX2 でサポートされています。
- Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降では、MACsec は次でサポートされます。
  - Cisco Nexus N9K-C93180YC-FX3S スイッチ。MACsec は、すべてのポートでサポートされています。
  - Cisco N9K-X9732C-FX および Cisco N9K-X9788TC-FX ライン カード
- Cisco Nexus 9300-FX2 ファミリ スイッチは、次のポートが 1G の速度で実行されている場合を除き、すべてのポートで MACsec をサポートします — N9K-X9788TC-FX、N9K-C9336C-FX2、N9K-C93240YC-FX2、N9K-C93240YC-FX2-Z、N9K-X9736C-FX、N9K-C9364C、N9K-C9332C、N9K-C93360YC-FX3、N9K-C93216TC-FX2、N9K-C93360YC-FX2、N9K-C93180YC2-FX、N9K-C9336C-FX2、N9K-X96136YC-R。

  Cisco Nexus 9300-FX3 ファミリ スイッチは、1G および 10G ポート速度を含むすべてのポート速度で MACsec をサポートします。
- MACsec は、Cisco Nexus N9K-C93240YC-FX2、N9K-C93336C-FX2、N9K-C93108TC-FX、N9K-C93180YC-FX プラットフォーム スイッチ、および N9K-X9736C-FX および N9K-X9732C-EXM ライン カードでサポートされています。
- Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチは、QSA が使用されている場合、MACsec 対応ポートで MACsec をサポートしません。
  - Cisco NX-OS リリース 10.1(2) 以降では、QSA が使用されている場合、MACsec は Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
  - Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降、QSA が使用されている場合、MACsec は Cisco Nexus N9K-C9336C-FX2、N9K-C9336C-FX2-E、および N9K-C9364C プラットフォーム スイッチでサポートされます。
  - Cisco NX-OS リリース 9.3(7) 以降では、QSA が使用されている場合、MACsec は Cisco Nexus N9K-C9364C および N9K-C9336C-FX2 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
- Cisco NX-OS リリース 10.3(1)F 以降、MACsec は Cisco Nexus 9800 プラットフォーム スイッチの N9K-X9836DM-A ライン カードでサポートされています。

キーチェーンの制限：

- MACsec キーのオクテット文字列は上書きできません。代わりに、新しいキーまたは新しいキーチェーンを作成する必要があります。
- **end** または **exit** を入力すると、キーチェーンの新しいキーが設定されます。エディタ モードのデフォルトのタイムアウト値は 6 秒です。キーがキー オクテット文字列または 6 秒間の送信ライフタイムで設定されていない場合、MACsec セッションを起動するために

不完全な情報が使用され、セッションが承認保留状態のままになる可能性があります。設定の完了後にMACsecセッションがコンバージされない場合は、ポートをシャットダウン/非シャットダウンすることをお勧めします。

- 指定したキーチェーンでは、キーの有効期間を重複させて、有効なキーの不在期間を避ける必要があります。キーがアクティブ化されない期間が発生すると、セッション ネゴシエーションが失敗し、トラフィックがドロップされる可能性があります。MACsec キー ロールオーバーでは、現在アクティブなキーの中で最も遅い開始時刻のキーが優先されます。

フォールバックの制限：

- MACsecセッションが古いプライマリキーで保護されている場合、最新のアクティブなプライマリ キーが一致しない場合、フォールバック セッションには進みません。そのため、セッションは古いプライマリ キーで保護されたままになり、ステータスが古いCA のキー再生成として表示されます。プライマリ PSK の新しいキーの MACsec セッションは init 状態になります。
- フォールバック キーチェーンでは、無期限のキーを 1 つだけ使用します。複数のキーはサポートされていません。
- フォールバック キー チェーンで使用されるキー ID（CKN）は、プライマリ キー チェーンで使用されるキー ID（CKN）のいずれとも一致しないようにしてください。
- 一度設定すると、インターフェイスのすべての MACsec 設定が削除されない限り、インターフェイスのフォールバック設定は削除できません。

MACsec ポリシーの制限：

- MACsec セッションがセキュアになる前に、BPDU パケットを送信できます。

レイヤ 2 トンネリング プロトコル（L2TP）の制約事項：

- MACsec は、dot1q トンネリングまたは L2TP 用に設定されたポートではサポートされません。
- 非ネイティブ VLAN のトランク ポートで STP が有効になっている場合、L2TP は機能しません。

統計情報の制限：

- MACsec モードと非 MACsec モード（通常のポート シャットダウン/非シャットダウン）の間の移行中に発生する CRC エラーはほとんどありません。
- Secy 統計情報は累積され、30 秒ごとにポーリングされます。
- IEEE8021-SECY-MIB OID secyRxSAStatsOKPkts、secyTxSAStatsProtectedPkts、および secyTxSAStatsEncryptedPkts は最大 32 ビットのカウンタ値しか伝送できませんが、トラフィックは 32 ビットを超える可能性があります。

相互運用性の制限：

- N9K-X9732C-EXM と他のピア スイッチ（他のシスコおよびシスコ以外のスイッチ）の相互運用性は、XPN 暗号スイートでのみサポートされます。
- MACsec ピアは、AES_128_CMAC 暗号化アルゴリズムを使用するために同じ Cisco NX-OS リリースを実行する必要があります。以前のリリースと Cisco NX-OS リリース 9.2(1) の間の相互運用性のために、AES_256_CMAC 暗号化アルゴリズムでキーを使用する必要があります。
- 以前のリリースと Cisco NX-OS リリース 9.2(1) の間の相互運用性を確保するために、MACsec キーが 32 オクテット未満の場合は、MACsec キーにゼロを付加します。
- Cisco NX-OS ボックスでは、すべてのインターフェイスで代替 MAC アドレスとイーサネット タイプの一意の組み合わせを 1 つだけ設定できます。
- 転送エンジンの同じスライス内では、EAPOL ethertype と dot1q ethertype に同じ値を指定することはできません。
- EAPOL 設定を有効にするには、0 ー 0x599 の範囲のイーサネット タイプの範囲が無効です。
- EAPOL 設定を有効にする場合、N9K-X9836DM-A ラインカードでサポートされる EAPOL mac アドレスは、0x0180c2000000 ～ 0x0180c20000ff の範囲のみです。
- EAPOL パケットの設定中は、次の組み合わせを使用しないでください。
  - MAC アドレス 0100.0ccd.cdd0 と ethertype
  - MAC アドレスと ethertype：0xfff0、0x800、0x86dd
  - デフォルトの宛先 MAC アドレス0180.c200.0003 とデフォルトのイーサネット タイプ 0x888e
- N9K-X9736C-FX、N9K-C9348GC-FXP、N9K-C93180YC-FX、N9K-C93108TC-FX、N9K-X9732C-FX、および N9K-X9788TC-FX プラットフォーム スイッチは、1G ポートで MACsec をサポートしていません。MACsec は 1G ポートを有する mac ブロックのポートではサポートされません。
- MACSEC対応モジュールで1G光ファイバを使用する場合は、診断モードを「最小」に変更することを推奨します。
- ポートチャネル メンバーごとの MACsec 設定サポートなしで Cisco NX-OS リリース 9.3(1) から Cisco NX-OS リリースにダウングレードしようとした場合、同じポートチャネル インターフェイスのメンバーに異なる MACsec 設定がある場合その他の場合は、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
ポートチャネル メンバーに非対称 macsec 設定が存在します。メンバー間で対称 macsec 設定を使用して、中断のない ISSU を実行してください。
```

- Cisco NX-OS リリース 10.2(1q)F 以降、MACsec は N9K-C9332D-GX2B プラットフォーム スイッチでサポートされます。

- Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、MACsec は、10G QSA リンクを備えた Cisco N9K-X9736C-FX および N9K-X9736Q-FX ラインカードをサポートします。
- Cisco N9K-C9332D-GX2B プラットフォーム スイッチ と N9K-X9836DM-A ライン カードでは、MACsec の場合、ポートで MACsec が設定されているか設定されていない場合、ポート フラップは MACsec セキュリティ ポリシー タイプに関係なく発生します。

MACsec の有効化

MACsec および MKA コマンドにアクセスする前に、MACsec 機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します

ステップ 2	**feature macsec** 例： `switch(config)# feature macsec`	デバイスで MACsec および MKA を有効にします。
ステップ 3	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

MACsec の無効化

Cisco NX-OS リリース 9.2(1) 以降では、MACsec 機能を無効にしても、この機能が非アクティブ化されるだけで、関連する MACsec 設定は削除されません。

MACsec の無効化には、次の条件があります。

- MACsec shutdown はグローバルコマンドであり、インターフェイス レベルでは使用できません。
- macsec shutdown、show macsec mka session/summary、show macsec mka session detail、およびshow macsec mka/secy statistics コマンドは、「Macsec is shutdown」メッセージを表示します。ただし、show macsec policy および show key chain コマンドは出力を表示します。

- 連続する MACsec ステータスが macsec shutdown から no macsec shutdown に変更された場合、またはその逆の場合は、ステータス変更の間に 30 秒の間隔が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します

ステップ 2	**macsec shutdown** 例： `switch(config)# macsec shutdown`	デバイスの MACsec 設定を無効にします。**no** オプションは、MACsec 機能を復元します。
ステップ 3	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。この手順は、スイッチのリロード後に MACsec をシャットダウン状態に維持する場合にのみ必要です。

MACsec キーチェーンとキーの設定

デバイスに MACsec キーチェーンとキーを作成できます。

（注） MACsec キーチェーンのみが MKA セッションをコンバージします。

始める前に

MACsec が有効であることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル設定モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	（任意）**[no] key-chain macsec-psk no-show** 例： `switch(config)# key-chain macsec-psk no-show`	**show running-config** および **show startup-config** コマンドの出力で、暗号化されたキーオクテット文字列をワイルドカード文字に置き換えて非表示にします。デフォルトでは、PSK キーは暗号化形式で表示され、簡単に復号化できます。このコマンドは、MACsec キーチェーンにのみ適用されます。 （注） オクテット文字列は、設定をファイルに保存するときにも非表示になります。

ステップ 3	**key chain** *name* **macsec**
	例：
	`switch(config)# key chain 1 macsec`
	`switch(config-macseckeychain)#`
		MACSec キーチェーンを作成して MACSec キーのセットを保持し、MACSec キーチェーン設定モードを開始します。

ステップ 4	**key** *key-id*
	例：
	`switch(config-macseckeychain)# key 1000`
	`switch(config-macseckeychain-macseckey)#`
		MAC secキーを作成し、MACsec キー設定モードを開始します。範囲は1ー32 オクテットで、最大サイズは 64 です。
		（注） キーの文字数は偶数でなければなりません。

ステップ 5	**key-octet-string** *octet-string* **cryptographic-algorithm** {**AES_128_CMAC** | **AES_256_CMAC**} 例： `switch(config-macseckeychain-macseckey)# key-octet-string abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789 cryptographic-algorithm AES_256_CMAC`	そのキーの octet ストリングを設定します。*octet-string* 引数には、最大 64 文字の 16 進数文字を含めることができます。オクテット キーは内部でエンコードされるため、**show running-config macsec** コマンドの出力にクリア テキストのキーが現れることはありません。 キーオクテット文字列には、次のものが含まれます。 • 0 暗号化タイプ - 暗号化なし（デフォルト） • 6 暗号化タイプ - 独自仕様（タイプ 6 暗号化）。詳細については、MACsec キーでのタイプ 6 暗号化の有効化を参照してください。

	コマンドまたはアクション	目的
		• 7 暗号化タイプ - 最大 64 文字の、独自仕様 WORD キー オクテット文列 （注） AES_128_CMAC 暗号化アルゴリズムを使用するためには、MACsec ピアは同じ Cisco NX-OS リリースを実行する必要があります。以前のリリースと、Cisco NX-OS リリース 7.0(3)I7(2) 以降のリリース間で相互運用できるようにするには、キーを AES_256_CMAC 暗号化アルゴリズムで使用する必要があります。
ステップ 6	**send-lifetime** 開始時間 **duration** 長さ 例： `switch(config-macseckeychain-macseckey)# send-lifetime 00:00:00 Oct 04 2016 duration 100000`	キーの送信ライフタイムを設定します。デフォルトでは、デバイスは開始時間を UTC として扱います。 *start-time* 引数は、キーがアクティブになる日時です。*duration* 引数はライフタイムの長さ（秒）です。最大値は 2147483646 秒（約 68 年）です。
ステップ 7	（任意） **show key chain** *name* 例： `switch(config-macseckeychain-macseckey)# show key chain 1`	キーチェーンの設定を表示します。
ステップ 8	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config-macseckeychain-macseckey)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

MACsec パケット番号の消耗

各 MACsec フレームには 32 ビット パケット番号（PN）が含まれており、特定のセキュリティ アソシエーション キー（SAK）に対して一意です。PN 消耗後（2^{32}- 1 の 75% に達した後）、SAK リキーは自動的に行われ、データ プレーン キーを更新し、PN を周囲に配置します。

たとえば、64 バイトの 10G フル ライン レートでは、PN の枯渇により 216 秒ごとに SAK キー再生成が発生します。

これは、GCM-AES-PN-128 または GCM-AES-PN-256 暗号スイートを使用する場合に適用されます。

GCM-AES-XPN-128 または GCM-AES-XPN-256 暗号スイートが使用されている場合、SAK キー再生成は 2^{64}- 1 の 75% に達すると自動的に行われます（パケットの番号付けを消耗するのに数年かかります）。暗号スイートは macsec ポリシーで設定可能で、動作する暗号スイートはキー サーバ デバイスによって決定されます。

N9K-X9732C-EXM ライン カードで XPN 暗号スイートを使用することを推奨します。

MACsec フォールバック キーの設定

Cisco NX-OS リリース 9.2(1) 以降では、プライマリ セッションがスイッチとピア間のキー/キー名（CKN）のミスマッチまたはキーの有効期限の結果として失敗した場合にバックアップセッションを開始するようにデバイスのフォールバック キーを設定できます。

始める前に

MACsec が有効になっており、プライマリおよびフォールバック キーチェーンとキー ID が設定されていることを確認します。「MACsec キーチェーンとキーの設定」を参照してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**interface** *name*
	例：
	`switch(config)# interface ethernet 1/1`
	`switch(config-if)#`
		設定するインターフェイスを指定します。インターフェイス タイプと ID を指定できます。イーサネット ポートの場合は、「ethernet slot / port」を使用します。

ステップ 3	**macsec keychain** *keychain-name* **policy** *policy-name* **fallback-keychain** *keychain-name* 例： `switch(config-if)# macsec keychain kc2 policy abc fallback-keychain fb_kc2`	キー/キー ID のミスマッチまたはキーの期限切れによる MACsec セッションの失敗後に使用するフォールバック キーチェーンを指定します。フォールバック キー ID は、プライマリ キーチェーンのキー ID と一致してはなりません。

	コマンドまたはアクション	目的
		フォールバック キーチェーン名を変更して同じコマンドを再発行することで、MACsec設定を削除せずに、各インターフェイスのフォールバック キーチェーン設定を対応するインターフェイスで変更できます。 （注） コマンドは、フォールバック キーチェーン名を除き、インターフェイスの既存のコンフィギュレーション コマンドとまったく同じように入力する必要があります。 「MACsec キーチェーンとキーの設定」を参照してください。
ステップ 4	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config-if)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

MACsec ポリシーの設定

異なるパラメータを使用して複数の MACSec ポリシーを作成できます。しかし、1 つのインターフェイスでアクティブにできるポリシーは 1 つのみです。

始める前に

MACsec が有効であることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**macsec policy** *name* 例：	MACsec ポリシーを作成します。

	コマンドまたはアクション	目的
	`switch(config)# macsec policy abc` `switch(config-macsec-policy)#`	
ステップ 3	**cipher-suite** *name* 例： `switch(config-macsec-policy)# cipher-suite GCM-AES-256`	GCM-AES-128、GCM-AES-256、GCM-AES-XPN-128、または GCM-AES-XPN-256 のいずれかを設定します。
ステップ 4	**key-server-priority** *number* 例： `switch(config-macsec-policy)# key-server-priority 0`	キー交換中はピア間の接続が解除されるように、キー サーバのプライオリティを設定します。範囲は0（最高）ー255（最低）で、デフォルト値は 16 です。
ステップ 5	**security-policy** *name* 例： `switch(config-macsec-policy)# security-policy should-secure`	次のいずれかのセキュリティポリシーを設定して、データおよび制御パケットの処理を定義します。 • **must-secure**：MACsec をヘッダー持たないパケットはドロップされます。 • **should-secure**：MACsec ヘッダーを持たないパケットも許可されます。これはデフォルト値です。
ステップ 6	**window-size** *number* 例： `switch(config-macsec-policy)# window-size 512`	インターフェイスが、設定されたウィンドウサイズ未満のパケットを受け入れないように、再生保護ウィンドウを設定します。範囲は 0 ～ 596000000 です。
ステップ 7	**sak-expiry-time** *time* 例： `switch(config-macsec-policy)# sak-expiry-time 100`	SAK キー再生成を強制する時間を秒単位で設定します。このコマンドを使用して、セッションキーを予測可能な時間間隔に変更できます。デフォルトは 0 です。
ステップ 8	**conf-offset** *name* 例： `switch(config-macsec-policy)# conf-offset CONF-OFFSET-0`	暗号化を開始するレイヤ 2 フレームの機密性オフセットの 1 つとして、CONF-OFFSET-0、CONF-OFFSET-30、またはCONF-OFFSET-50 のいずれかを設定します。このコマンドは、中間スイッチがパケット ヘッダー {dmac、smac、etype} を MPLS タグのように使用するために必要です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 9	（任意） **show macsec policy** 例： `switch(config-macsec-policy)# show macsec policy`	MACSec ポリシー設定を表示します。
ステップ 10	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config-macsec-policy)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

PSK のローテーション

SAK の有効期限が MACsec ポリシーで 60 秒に設定されている場合は、次の手順に従って PSK を切り替えます。

手順

ステップ 1 MACsec ポリシーから SAK 期限切れタイマーを削除するには、**no sak-expiry-time** コマンドを使用します。

（注） 設定内のポリシーの数だけ、SAK の有効期限タイマーを削除する必要があります。インターフェイスごとに削除する必要はありません。ポリシーを 1 つだけ定義してすべてのインターフェイスに適用した場合は、このポリシーからのみ SAK の有効期限タイマーを削除する必要があります。

ステップ 2 2 分間待機します。

ステップ 3 **key** *key-id* コマンドを使用して、キーチェーンの下に新しいキーをプログラムします。

ステップ 4 新しいキーとのセッションが保護されたら、**no key** *key-id* コマンドを使用して古いキーを削除します。

ステップ 5 2 分間待機します。

ステップ 6 SAK キー再生成タイマーを MACsec ポリシーに追加するには、**sak-expiry-timer 60** コマンドを使用します。

設定可能なEAPOLの宛先とイーサネットタイプについて

Cisco NX-OS リリース 9.2(2) 以降では、WAN MACsec を使用するネットワークで、Extensible Authentication Protocol（EAP）over LAN（EAPOL）プロトコルの宛先アドレスとイーサネットタイプの値を非標準値に変更できます。

設定可能なEAPOL MACおよびイーサネットタイプでは、標準MKAパケットを消費するイーサネットネットワーク上でCEデバイスがMKAセッションを形成できるように、MKAパケットの MAC アドレスとイーサネット タイプを変更できます。

EAPOL 宛先イーサネット タイプは、デフォルトのイーサネット タイプ 0x888E から代替値に変更できます。または、EAPOL宛先MACアドレスは、デフォルトDMACの01:80:C2:00:00:03から代替値に変更できます。プロバイダー ブリッジによって消費されないようにします。

この機能はインターフェイス レベルで使用でき、代替EAPOL設定は、次のように任意のインターフェイスでいつでも変更できます。

- MACsecがインターフェイスですでに設定されている場合、セッションは新しい代替EAPOL設定で起動します。
- MACsecがインターフェイスで設定されていない場合、EAPOL設定はインターフェイスに適用され、MACsec がそのインターフェイスで設定されている場合に有効になります。

EAPOL 設定の有効化

EAPOL 設定は、使用可能な任意のインターフェイスで有効にできます。

始める前に

MACsec が有効であることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**interface** *name*
	例：
	`switch(config)# interface ethernet 1/1`
	`switch(config-if)#`
		設定するインターフェイスを指定します。インターフェイス タイプと ID を指定できます。イーサネット ポートの場合は、「ethernet slot / port」を使用します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	**eapol mac-address** *mac_address* [**ethertype** *eth_type*]	指定されたインターフェイス タイプおよびIDでEAPOL設定を有効にします。 （注） イーサネット タイプが指定されていない場合、MKA パケットのデフォルト イーサネット タイプ（0x888e）であると見なします。
ステップ 4	**eapol mac-address broadcast-address** [**ethertype** *eth_type*]	ブロードキャストアドレスを代替MACアドレスとして有効にします。
ステップ 5	（任意） **copy running-config startup-config** 例： `switch(config-macseckeychain-macseckey)# copy running-config startup-config`	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
ステップ 6	**show macsec mka session detail**	EAPOL 設定を表示します。

EAPOL 設定の無効化

使用可能なインターフェイスで EAPOL 設定を無効にできます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的

ステップ 1	**configure terminal**
	例：
	`switch# configure terminal`
	`switch(config)#`
		グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

ステップ 2	**interface** *name*
	例：
	`switch(config)# interface ethernet 1/1`
	`switch(config-if)#`
		設定するインターフェイスを指定します。インターフェイス タイプと ID を指定できます。イーサネット ポートの場合は、「ethernet slot / port」を使用します。

ステップ 3	[**no**] **eapol mac-address** *mac_address* [**ethertype** *eth_type*]	指定されたインターフェイス タイプおよびIDでEAPOL設定を無効にします。
ステップ 4	（任意） **copy running-config startup-config** 例：	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

	コマンドまたはアクション	目的
	`switch(config-macseckeychain-macseckey)# copy running-config startup-config`	

MACsec 設定の確認

MACsec 設定情報を表示するには、次のいずれかの作業を実行します。

コマンド	目的
show key chain *name*	キーチェーンの設定を表示します。
show macsec mka session [**interface** *type slot*/*port*] [**detail**]	特定のインターフェイスまたはすべてのインターフェイスの MACsec MKA セッションに関する情報を表示します。
show macsec mka session details	すべての EAPOL パケットのインターフェイスで現在使用されている MAC アドレスおよびイーサネット タイプに関する情報を表示します。
show macsec mka summary	MACsec MKA 設定を表示します。
show macsec policy [*policy-name*]	特定の MACsec ポリシーまたはすべての MACsec ポリシーの設定を表示します。
show running-config macsec	MACsec の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

次に、すべてのインターフェイスの MACsec MKA セッションに関する情報を表示する例を示します。。

```
switch# show macsec mka session
Interface          Local-TxSCI                     #Peers            Status
  Key-Server         Auth Mode
------------------ ------------------------------- ------------------ ----------------
 ------------------ ------------------
Ethernet2/2        2c33.11b8.7d14/0001             1                  Secured
   Yes               PRIMARY-PSK
Ethernet2/3        2c33.11b8.7d18/0001             1                  Secured
   Yes               PRIMARY-PSK
------------------ ------------------------------- ------------------ ----------------
 ------------------ ------------------
Total Number of Sessions : 2
        Secured Sessions : 2
        Pending Sessions : 0
```

次に、特定のインターフェイスの MACsec MKA セッションに関する情報を表示する例を示します。前の例で説明したテーブルの一般的な要素に加えて、現在の MACsec セッション タイプを定義する認証モードも示します。

```
switch# show macsec mka session interface ethernet 1/1

Interface      Local-TxSCI          # Peers   Status        Key-Server     Auth Mode
```

```
-------------- -------------------- --------- ------------- -------------- -------------
Ethernet1/1    70df.2fdc.baf4/0001      0     Pending       Yes            PRIMARY-PSK
Ethernet1/1    70df.2fdc.baf4/0001      1     Secured       No             FALLBACK-PSK
```

次に、特定のイーサネット インターフェイスの MACsec MKA セッションに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
Interface Name          : Ethernet2/2
    Session Status                    : SECURED - Secured MKA Session with MACsec
    Local Tx-SCI                      : 2c33.11b8.7d14/0001
    Local Tx-SSCI                     : 2
    MKA Port Identifier               : 2
    CAK Name (CKN)                    : 12
    CA Authentication Mode            : PRIMARY-PSK
    Member Identifier (MI)            : B54263EF7949A561E25CE617
    Message Number (MN)               : 523
    MKA Policy Name                   : tests2
    Key Server Priority               : 16
    Key Server                        : Yes
    Include ICV                       : No
    SAK Cipher Suite                  : GCM-AES-XPN-256
    SAK Cipher Suite (Operational)    : GCM-AES-XPN-256
    Replay Window Size                : 148809600
    Confidentiality Offset            : CONF-OFFSET-0
    Confidentiality Offset (Operational): CONF-OFFSET-0
    Latest SAK Status                 : Rx & TX
    Latest SAK AN                     : 0
    Latest SAK KI                     : B54263EF7949A561E25CE61700000001
    Latest SAK KN                     : 1
    Last SAK key time                 : 12:59:38 PST Tue Mar 19 2019
    CA Peer Count                     : 1
    Eapol dest mac                    : 0180.c200.0003
    Ether-type                        : 0x888e
Peer Status:
    Peer MI                           : 2C2C090E62A96F4D6E018210
    RxSCI                             : 2c33.11b8.8b88/0001
    Peer CAK                          : Match
    Latest Rx MKPDU                   : 13:16:54 PST Tue Mar 19 2019
```

次に、MACsec MKA 設定を表示する例を示します。

```
switch# show macsec mka summary
Interface          MACSEC-policy                    Keychain
------------------ -------------------------------- ------------------------
Ethernet2/13       1                                1/10000000000000000
Ethernet2/14       1                                1/10000000000000000
```

次に、すべての MACsec ポリシーの設定を表示する例を示します。

```
switch# show macsec policy
MACSec Policy        Cipher          Pri  Window     Offset   Security   SAK Rekey time
 ICV Indicator  Include-SCI
----------------- -------------     --- --------   --------  --------  --------------
 ------------- -------------
KC256-Po117b        GCM-AES-256      16   148809600    0    should-secure  pn-rollover
   FALSE        True
pol1                GCM-AES-XPN-256  100  148809600    30   must-secure    60
   FALSE        True
pol256-FanO         GCM-AES-XPN-256  16   148809600    0    must-secure    60
   FALSE        True
pol256-MCT          GCM-AES-XPN-256  16   148809600    0    should-secure  60
   FALSE        FALSE
```

```
system-default-
macsec-policy       GCM-AES-XPN-256  16   148809600    0    should-secure  pn-rollover
   FALSE        FALSE
test1               GCM-AES-XPN-256  16   148809600    0    should-secure  pn-rollover
   FALSE        True
```

次の例では、**show running-config** および **show startup-config** コマンドの出力にキー オクテット文字列が表示されることを示しています。ただし、**key-chain macsec-psk no-show** コマンドが設定されている場合を除きます。

```
key chain KC256-1 macsec
  key 2000
    key-octet-string 7
075e701e1c5a4a5143475e5a527d7c7c706a6c724306170103555a5c57510b051e47080
a05000101005e0e50510f005c4b5f5d0b5b070e234e4d0a1d0112175b5e cryptographic-algorithm
AES_256_CMAC
```

次の例では、**show running-config** および **show startup-config** コマンドの出力にキー オクテット文字列が表示されることを示しています。こちらは、**key-chain macsec-psk no-show** コマンドが設定されている場合です。

```
key chain KC256-1 macsec
  key 2000
    key-octet-string 7 ****** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
```

MACsec 統計の表示

次のコマンドを使用して、MACsec 統計情報を表示できます。

コマンド	説明
show macsec mka statistics [**interface** *type slot*/*port*]	MACsec MKA 統計情報を表示します。
show macsec secy statistics [**interface** *type slot*/*port*]	MACsecセキュリティ統計情報を表示します。

次に、特定のイーサネット インターフェイスの MACsec MKA 統計情報の例を示します。

```
switch# show macsec mka statistics interface ethernet 2/2

Per-CA MKA Statistics for Session on interface (Ethernet2/2) with CKN 0x10
================================================================================
CA Statistics
   Pairwise CAK Rekeys..... 0

SA Statistics
   SAKs Generated.......... 0
   SAKs Rekeyed............ 0
   SAKs Received........... 0
   SAK Responses Received.. 0

MKPDU Statistics
   MKPDUs Transmitted...... 1096
      "Distributed SAK".. 0
```

```
   MKPDUs Validated & Rx... 0
      "Distributed SAK".. 0

MKA Statistics for Session on interface (Ethernet2/2)
=====================================================
CA Statistics
   Pairwise CAK Rekeys..... 0

SA Statistics
   SAKs Generated.......... 0
   SAKs Rekeyed............ 0
   SAKs Received........... 0
   SAK Responses Received.. 0

MKPDU Statistics
   MKPDUs Transmitted...... 1096
      "Distributed SAK".. 0
   MKPDUs Validated & Rx... 0
      "Distributed SAK".. 0
   MKPDUs Tx Success.......... 1096
   MKPDUs Tx Fail............. 0
   MKPDUS Tx Pkt build fail... 0
   MKPDUS No Tx on intf down.. 0
   MKPDUS No Rx on intf down.. 0
   MKPDUs Rx CA Not found..... 0
   MKPDUs Rx Error............ 0
   MKPDUs Rx Success.......... 0

MKPDU Failures
   MKPDU Rx Validation ..................... 0
   MKPDU Rx Bad Peer MN..................... 0
   MKPDU Rx Non-recent Peerlist MN.......... 0
   MKPDU Rx Drop SAKUSE, KN mismatch........ 0
   MKPDU Rx Drop SAKUSE, Rx Not Set......... 0
   MKPDU Rx Drop SAKUSE, Key MI mismatch.... 0
   MKPDU Rx Drop SAKUSE, AN Not in Use...... 0
   MKPDU Rx Drop SAKUSE, KS Rx/Tx Not Set... 0
   MKPDU Rx Drop Packet, Ethertype Mismatch. 0

SAK Failures
   SAK Generation................... 0
   Hash Key Generation.............. 0
   SAK Encryption/Wrap.............. 0
   SAK Decryption/Unwrap............ 0

CA Failures
   ICK Derivation................... 0
   KEK Derivation................... 0
   Invalid Peer MACsec Capability... 0

MACsec Failures
   Rx SA Installation............... 0
   Tx SA Installation............... 0
```

次に、特定のイーサネット インターフェイスの MACsec セキュリティ統計情報を表示する例を示します。

（注） Rx および Tx 統計情報の非制御パケットと制御パケットには、次の違いがあります。

- Rx 統計
  - 非制御=暗号化および非暗号化
  - 制御 = 非暗号化
- TX 統計情報：
  - 非制御 = 非暗号化
  - 制御 = 暗号化
  - 共通 = 暗号化および非暗号化

```
switch(config)# show macsec secy statistics interface e2/28/1

Interface Ethernet2/28/1 MACSEC SecY Statistics:
-----------------------------------------
Interface Rx Statistics:
   Unicast Uncontrolled Pkts: 14987
   Multicast Uncontrolled Pkts: 1190444
   Broadcast Uncontrolled Pkts: 4
   Uncontrolled Pkts - Rx Drop: 0
   Uncontrolled Pkts - Rx Error: 0
   Unicast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Multicast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Broadcast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Controlled Pkts: 247583
   Controlled Pkts - Rx Drop: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Controlled Pkts - Rx Error: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   In-Octets Uncontrolled: 169853963 bytes
   In-Octets Controlled: 55027017 bytes
   Input rate for Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Input rate for Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Input rate for Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Input rate for Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)

Interface Tx Statistics:
   Unicast Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Multicast Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Broadcast Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Uncontrolled Pkts - Rx Drop: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Uncontrolled Pkts - Rx Error: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Unicast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Multicast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Broadcast Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Controlled Pkts: 205429
   Controlled Pkts - Rx Drop: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Controlled Pkts - Rx Error: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Out-Octets Uncontrolled: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Out-Octets Controlled: 20612648 bytes
   Out-Octets Common: 151787484 bytes
   Output rate for Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Output rate for Uncontrolled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Output rate for Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Output rate for Controlled Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
```

```
SECY Rx Statistics:
  Transform Error Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Control Pkts: 952284
   Untagged Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   No Tag Pkts: 0
   Bad Tag Pkts: 0
   No SCI Pkts: 0
   Unknown SCI Pkts: 0
   Tagged Control Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)

SECY Tx Statistics:
   Transform Error Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Control Pkts: 967904
   Untagged Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)

SAK Rx Statistics for AN [3]:
   Unchecked Pkts: 0
   Delayed Pkts: 0
   Late Pkts: 0
   OK Pkts: 1
   Invalid Pkts: 0
   Not Valid Pkts: 0
   Not-Using-SA Pkts: 0
   Unused-SA Pkts: 0
   Decrypted In-Octets: 235 bytes
   Validated In-Octets: 0 bytes

SAK Tx Statistics for AN [3]:
   Encrypted Protected Pkts: 2
   Too Long Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   SA-not-in-use Pkts: N/A (N9K-X9736C-FX not supported)
   Encrypted Protected Out-Octets: 334 bytes
switch(config)#
```

MACsec の設定例

次に、ユーザ定義のMACsecポリシーを設定し、そのポリシーをインターフェイスに適用する例を示します。

```
switch(config)# macsec policy 1
switch(config-macsec-policy)# cipher-suite GCM-AES-256
switch(config-macsec-policy)# window-size 512
switch(config-macsec-policy)# key-server-priority 0
switch(config-macsec-policy)# conf-offset CONF-OFFSET-0
switch(config-macsec-policy)# security-policy should-secure
switch(config-macsec-policy)# exit

switch(config)# int e2/13-14
switch(config-if-range)# macsec keychain 1 policy 1
switch(config-if-range)# exit
switch(config)# show macsec mka summary
Interface          MACSEC-policy                    Keychain
------------------ -------------------------------- ------------------------
Ethernet2/13       1                                1/10000000000000000
Ethernet2/14       1                                1/10000000000000000

switch(config)# show macsec mka session
Interface      Local-TxSCI          # Peers    Status     Key-Server
-------------- -------------------- ---------- ---------- -------------
Ethernet2/13   006b.f1be.d31c/0001  1          Secured    Yes
```

```
Ethernet2/14   006b.f1be.d320/0001  1          Secured    No

switch(config)# show running-config macsec
!Command: show running-config macsec
!Time: Mon Dec  5 04:53:40 2016

version 9.2(1)feature macsec
macsec policy 1
  cipher-suite GCM-AES-256
  key-server-priority 0
  window-size 512
  conf-offset CONF-OFFSET-0
  security-policy should-secure

interface Ethernet2/13
  macsec keychain 1 policy 1

interface Ethernet2/14
  macsec keychain 1 policy 1
```

次に、MACsec キーチェーンを設定し、インターフェイスにシステムデフォルトの MACsecポリシーを追加する例を示します。

```
switch(config)# key chain 1 macsec
switch(config-macseckeychain)# key 1000
switch(config-macseckeychain-macseckey)# key-octet-string
abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789 cryptographic-algorithm
 aes_256_CMAC
switch(config-macseckeychain-macseckey)# exit

switch(config)# int e2/13-14
switch(config-if-range)# macsec keychain 1
switch(config-if-range)# exit
switch(config)#

switch(config)# show running-config macsec
!Command: show running-config macsec
!Time: Mon Dec  5 04:50:16 2016
version 7.0(3)I4(5)
feature macsec
interface Ethernet2/13
  macsec keychain 1 policy system-default-macsec-policy
interface Ethernet2/14
  macsec keychain 1 policy system-default-macsec-policy

switch(config)# show macsec mka session
Interface          Local-TxSCI                     # Peers            Status
   Key-Server         Auth Mode
------------------ ------------------------------- ------------------ ------------------
 ------------------ ------------------
Ethernet2/2        2c33.11b8.7d14/0001             1                  Secured
   Yes                PRIMARY-PSK
Ethernet2/3        2c33.11b8.7d18/0001             1                  Secured
   Yes                PRIMARY-PSK
------------------ ------------------------------- ------------------ ------------------
 ------------------ ------------------
Total Number of Sessions : 2
        Secured Sessions : 2
        Pending Sessions : 0

switch(config)# show macsec mka summary
Interface         Status   Cipher (Operational)   Key-Server   MACSEC-policy   Keychain
  Fallback-keychain
```

```
----------------- -------- --------------------- ------------ -------------- ----------
 ---------------
Ethernet2/1       down       -                      -          tests1           keych1
    no keychain
Ethernet2/2       Secured  GCM-AES-XPN-256        Yes          tests2           keych2
    no keychain
Ethernet2/3       Secured  GCM-AES-256            Yes          tests3           keyc3
    no keychain
```

XML の例

MACsec は、**| xml** を使用したスクリプト用に次の **show** コマンドの XML 出力をサポートします。

- **show key chain** *name* **| xml**
- **show macsec mka session interface** *interface slot/port* **details | xml**
- **show macsec mka statistics interface** *interface slot/port* **| xml**
- **show macsec mka summary | xml**
- **show macsec policy** *name* **| xml**
- **show macsec secy statistics interface** *interface slot/port* **| xml**
- **show running-config macsec | xml**

次に、上記の各 **show** コマンドの出力例を示します。

例 1：キーチェーンの設定を表示します

```
switch# show key chain "Kc2" | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0:rpm">
 <nf:data>
  <show>
   <key>
    <chain>
     <__XML__OPT_Cmd_rpm_show_keychain_cmd_keychain>
      <keychain>Kc2</keychain>
     </__XML__OPT_Cmd_rpm_show_keychain_cmd_keychain>
    </chain>
   </key>
  </show>
 </nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 2：特定のインターフェイスの MACsec MKA セッションに関する情報を表示します。

```
switch# show macsec mka session interface ethernet 4/31 details | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0">
 <nf:data>
  <show>
```

```
   <macsec>
    <mka>
     <session>
      <__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session_interface>
       <interface>
        <__XML__INTF_ifname>
         <__XML__PARAM_value>
          <__XML__INTF_output>Ethernet4/31</__XML__INTF_output>
         </__XML__PARAM_value>
        </__XML__INTF_ifname>
       </interface>
       <__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session_details>
        <details/>
        <__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session___readonly__>
         <__readonly__>
          <TABLE_mka_session_details>
           <ROW_mka_session_details>
            <ifname>Ethernet4/31</ifname>
            <status>Secured</status>
            <sci>0c75.bd03.5360/0001</sci>
            <ssci>1</ssci>
            <port_id>1</port_id>
            <mi>02000000000000000000000000000000000000000000000000000000000000000000
</mi>
            <mi>F511280A765CE41C79458753</mi>
            <mn>2770</mn>
            <policy>am2</policy>
            <ks_prio>0</ks_prio>
            <keyserver>No</keyserver>
            <cipher>GCM-AES-XPN-256</cipher>
            <window>512</window>
            <conf_offset>CONF-OFFSET-0</conf_offset>
            <sak_status>Rx & TX</sak_status>
            <sak_an>1</sak_an>
            <sak_ki>516486241</sak_ki>
            <sak_kn>90</sak_kn>
            <last_sak_rekey_time>07:12:02 UTC Fri Jan 20 2017</last_sak_rekey_ti me>
           </ROW_mka_session_details>
          </TABLE_mka_session_details>
         </__readonly__>
        </__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session___readonly__>
       </__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session_details>
      </__XML__OPT_Cmd_show_macsec_mka_session_interface>
     </session>
    </mka>
   </macsec>
  </show>
 </nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 3：MACsec MKA 統計情報を表示します。

```
switch# show macsec mka statistics interface ethernet 4/31 | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0">
 <nf:data>
  <show>
<macsec>
    <mka>
     <statistics>
      <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics_interface>
       <interface>
```

```
            <__XML__INTF_ifname>
             <__XML__PARAM_value>
              <__XML__INTF_output>Ethernet4/31</__XML__INTF_output>
              <__XML__INTF_output>Ethernet4/31</__XML__INTF_output>
             </__XML__PARAM_value>
            </__XML__INTF_ifname>
           </interface>
           <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics___readonly__>
            <__readonly__>
             <TABLE_mka_intf_stats>
              <ROW_mka_intf_stats>
               <TABLE_ca_stats>
                <ROW_ca_stats>
                 <ca_stat_ckn>0x2</ca_stat_ckn>
                 <ca_stat_pairwise_cak_rekey>0</ca_stat_pairwise_cak_rekey>
                 <sa_stat_sak_generated>0</sa_stat_sak_generated>
                 <sa_stat_sak_rekey>0</sa_stat_sak_rekey>
                 <sa_stat_sak_received>91</sa_stat_sak_received>
                 <sa_stat_sak_response_rx>0</sa_stat_sak_response_rx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_tx>2808</mkpdu_stat_mkpdu_tx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_tx_distsak>0</mkpdu_stat_mkpdu_tx_distsak>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_rx>2714</mkpdu_stat_mkpdu_rx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_rx_distsak>91</mkpdu_stat_mkpdu_rx_distsak>
                </ROW_ca_stats>
               </TABLE_ca_stats>
              </ROW_mka_intf_stats>
             </TABLE_mka_intf_stats>
            </__readonly__>
           </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics___readonly__>
           <interface>
            <__XML__INTF_ifname>
             <__XML__PARAM_value>
              <__XML__INTF_output>Ethernet4/31</__XML__INTF_output>
             </__XML__PARAM_value>
            </__XML__INTF_ifname>
           </interface>
           <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics___readonly__>
            <__readonly__>
             <TABLE_mka_intf_stats>
              <ROW_mka_intf_stats>
               <TABLE_idb_stats>
                <ROW_idb_stats>
                 <ca_stat_pairwise_cak_rekey>0</ca_stat_pairwise_cak_rekey>
                 <sa_stat_sak_generated>0</sa_stat_sak_generated>
                 <sa_stat_sak_rekey>0</sa_stat_sak_rekey>
                 <sa_stat_sak_received>91</sa_stat_sak_received>
                 <sa_stat_sak_response_rx>0</sa_stat_sak_response_rx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_tx>2808</mkpdu_stat_mkpdu_tx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_tx_distsak>0</mkpdu_stat_mkpdu_tx_distsak>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_rx>2714</mkpdu_stat_mkpdu_rx>
                 <mkpdu_stat_mkpdu_rx_distsak>91</mkpdu_stat_mkpdu_rx_distsak>
                 <idb_stat_mkpdu_tx_success>2808</idb_stat_mkpdu_tx_success>
                 <idb_stat_mkpdu_tx_fail>0</idb_stat_mkpdu_tx_fail>
                 <idb_stat_mkpdu_tx_pkt_build_fail>0</idb_stat_mkpdu_tx_pkt_build_fail>
                 <idb_stat_mkpdu_no_tx_on_intf_down>0</idb_stat_mkpdu_no_tx_on_intf_down>
                 <idb_stat_mkpdu_no_rx_on_intf_down>0</idb_stat_mkpdu_no_rx_on_intf_down>
                 <idb_stat_mkpdu_rx_ca_notfound>0</idb_stat_mkpdu_rx_ca_notfound>
                 <idb_stat_mkpdu_rx_error>0</idb_stat_mkpdu_rx_error>
                 <idb_stat_mkpdu_rx_success>2714</idb_stat_mkpdu_rx_success>
                 <idb_stat_mkpdu_failure_rx_integrity_check_error>0</idb_stat_mkpdu_
failure_rx_integrity_check_error>
                 <idb_stat_mkpdu_failure_invalid_peer_mn_error>0</idb_stat_mkpdu_fai
lure_invalid_peer_mn_error>
                 <idb_stat_mkpdu_failure_nonrecent_peerlist_mn_error>1</idb_stat_mkp
```

```
du_failure_nonrecent_peerlist_mn_error>
            <idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_kn_mismatch_error>0</idb_stat_mkpdu_
failure_sakuse_kn_mismatch_error>
<idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_rx_not_set_error>0</idb_stat_mkpdu_f
ailure_sakuse_rx_not_set_error>
            <idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_key_mi_mismatch_error>0</idb_stat_mk
pdu_failure_sakuse_key_mi_mismatch_error>
            <idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_an_not_in_use_error>0</idb_stat_mkpd
u_failure_sakuse_an_not_in_use_error>
            <idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_ks_rx_tx_not_set_error>0</idb_stat_m
kpdu_failure_sakuse_ks_rx_tx_not_set_error>
            <idb_stat_mkpdu_failure_sakuse_eapol_ethertype_mismatch_error>0</id
b_stat_mkpdu_failure_sakuse_eapol_ethertype_mismatch_error>
            <idb_stat_sak_failure_sak_generate_error>0</idb_stat_sak_failure_sa
k_generate_error>
            <idb_stat_sak_failure_hash_generate_error>0</idb_stat_sak_failure_h
ash_generate_error>
            <idb_stat_sak_failure_sak_encryption_error>0</idb_stat_sak_failure_
sak_encryption_error>
            <idb_stat_sak_failure_sak_decryption_error>0</idb_stat_sak_failure_
sak_decryption_error>
            <idb_stat_sak_failure_ick_derivation_error>0</idb_stat_sak_failure_
ick_derivation_error>
            <idb_stat_sak_failure_kek_derivation_error>0</idb_stat_sak_failure_
kek_derivation_error>
            <idb_stat_sak_failure_invalid_macsec_capability_error>0</idb_stat_s
ak_failure_invalid_macsec_capability_error>
            <idb_stat_macsec_failure_rx_sa_create_error>0</idb_stat_macsec_fail
ure_rx_sa_create_error>
            <idb_stat_macsec_failure_tx_sa_create_error>0</idb_stat_macsec_fail
ure_tx_sa_create_error>
          </ROW_idb_stats>
         </TABLE_idb_stats>
        </ROW_mka_intf_stats>
       </TABLE_mka_intf_stats>
      </__readonly__>
     </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics___readonly__>
    </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_mka_statistics_interface>
   </statistics>
  </mka>
 </macsec>
</show>
</nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 4：MACsec MKA 設定を表示します。

```
switch# show macsec mka summary | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0">
 <nf:data>
  <show>
   <macsec>
    <mka>
     <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_summary>
      <__XML__OPT_Cmd_some_macsec___readonly__>
       <__readonly__>
        <TABLE_mka_summary>
         <ROW_mka_summary>
          <ifname>Ethernet2/1</ifname>
          <policy>am2</policy>
<keychain>kc2/020000000000000000000000000000000000000000000000000000000000
```

```
00000000</keychain>
         </ROW_mka_summary>
         <ROW_mka_summary>
          <ifname>Ethernet3/1</ifname>
          <policy>am2</policy>
          <keychain>kc2/020000000000000000000000000000000000000000000000000000000000
00000000</keychain>
         </ROW_mka_summary>

[TRUNCATED FOR READABILITY]

<ROW_mka_summary>
          <ifname>Ethernet3/32</ifname>
          <policy>am2</policy>
          <keychain>kc2/020000000000000000000000000000000000000000000000000000000000
00000000</keychain>
         </ROW_mka_summary>
        </TABLE_mka_summary>
       </__readonly__>
      </__XML__OPT_Cmd_some_macsec___readonly__>
     </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_summary>
    </mka>
   </macsec>
  </show>
 </nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 5：特定の MACsec ポリシーの設定を表示します。

```
switch# show macsec policy am2 | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0">
 <nf:data>
  <show>
   <macsec>
    <policy>
     <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_policy_name>
      <policy_name>am2</policy_name>
      <__XML__OPT_Cmd_some_macsec___readonly__>
       <__readonly__>
        <TABLE_macsec_policy>
         <ROW_macsec_policy>
          <name>am2</name>
          <cipher_suite>GCM-AES-XPN-256</cipher_suite>
          <keyserver_priority>0</keyserver_priority>
          <window_size>512</window_size>
          <conf_offset>0</conf_offset>
          <security_policy>must-secure</security_policy>
          <sak-expiry-time>60</sak-expiry-time>
         </ROW_macsec_policy>
        </TABLE_macsec_policy>
       </__readonly__>
      </__XML__OPT_Cmd_some_macsec___readonly__>
     </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_policy_name>
    </policy>
   </macsec>
  </show>
 </nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 6：MACsec セキュリティ統計情報を表示します。

```
switch# show macsec secy statistics interface ethernet 4/31 | xml
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<nf:rpc-reply xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://w
ww.cisco.com/nxos:1.0">
 <nf:data>
  <show>
   <macsec>
    <secy>
     <statistics>
      <interface>
       <__XML__INTF_ifname>
        <__XML__PARAM_value>
         <__XML__INTF_output>Ethernet4/31</__XML__INTF_output>
        </__XML__PARAM_value>
        <__XML__OPT_Cmd_some_macsec_secy_statistics___readonly__>
         <__readonly__>
          <TABLE_statistics>
           <ROW_statistics>
            <in_pkts_unicast_uncontrolled>0</in_pkts_unicast_uncontrolled>
            <in_pkts_multicast_uncontrolled>42</in_pkts_multicast_uncontrolled>
            <in_pkts_broadcast_uncontrolled>0</in_pkts_broadcast_uncontrolled>
            <in_rx_drop_pkts_uncontrolled>0</in_rx_drop_pkts_uncontrolled>
            <in_rx_err_pkts_uncontrolled>0</in_rx_err_pkts_uncontrolled>
            <in_pkts_unicast_controlled>0</in_pkts_unicast_controlled>
            <in_pkts_multicast_controlled>2</in_pkts_multicast_controlled>
            <in_pkts_broadcast_controlled>0</in_pkts_broadcast_controlled>
            <in_rx_drop_pkts_controlled>0</in_rx_drop_pkts_controlled>
            <in_rx_err_pkts_controlled>0</in_rx_err_pkts_controlled>
            <in_octets_uncontrolled>7230</in_octets_uncontrolled>
            <in_octets_controlled>470</in_octets_controlled>
            <input_rate_uncontrolled_pps>0</input_rate_uncontrolled_pps>
            <input_rate_uncontrolled_bps>9</input_rate_uncontrolled_bps>
            <input_rate_controlled_pps>0</input_rate_controlled_pps>
            <input_rate_controlled_bps>23</input_rate_controlled_bps>
            <out_pkts_unicast_uncontrolled>0</out_pkts_unicast_uncontrolled>
            <out_pkts_multicast_uncontrolled>41</out_pkts_multicast_uncontrolled>
            <out_pkts_broadcast_uncontrolled>0</out_pkts_broadcast_uncontrolled>
            <out_rx_drop_pkts_uncontrolled>0</out_rx_drop_pkts_uncontrolled>
            <out_rx_err_pkts_uncontrolled>0</out_rx_err_pkts_uncontrolled>
            <out_pkts_unicast_controlled>0</out_pkts_unicast_controlled>
            <out_pkts_multicast_controlled>2</out_pkts_multicast_controlled>
            <out_pkts_broadcast_controlled>0</out_pkts_broadcast_controlled>
            <out_rx_drop_pkts_controlled>0</out_rx_drop_pkts_controlled>
            <out_rx_err_pkts_controlled>0</out_rx_err_pkts_controlled>
            <out_octets_uncontrolled>6806</out_octets_uncontrolled>
            <out_octets_controlled>470</out_octets_controlled>
            <out_octets_common>7340</out_octets_common>
            <output_rate_uncontrolled_pps>2598190092</output_rate_uncontrolled_pps>
            <output_rate_uncontrolled_bps>2598190076</output_rate_uncontrolled_bps>
            <output_rate_controlled_pps>0</output_rate_controlled_pps>
            <output_rate_controlled_bps>23</output_rate_controlled_bps>
            <in_pkts_transform_error>0</in_pkts_transform_error>
            <in_pkts_control>40</in_pkts_control>
            <in_pkts_untagged>0</in_pkts_untagged>
            <in_pkts_no_tag>0</in_pkts_no_tag>
            <in_pkts_badtag>0</in_pkts_badtag>
            <in_pkts_no_sci>0</in_pkts_no_sci>
            <in_pkts_unknown_sci>0</in_pkts_unknown_sci>
            <in_pkts_tagged_ctrl>0</in_pkts_tagged_ctrl>
            <out_pkts_transform_error>0</out_pkts_transform_error>
            <out_pkts_control>41</out_pkts_control>
            <out_pkts_untagged>0</out_pkts_untagged>
```

```
            <rx_sa_an>1</rx_sa_an>
            <in_pkts_unchecked>0</in_pkts_unchecked>
            <in_pkts_delayed>0</in_pkts_delayed>
            <in_pkts_late>0</in_pkts_late>
            <in_pkts_ok>1</in_pkts_ok>
            <in_pkts_invalid>0</in_pkts_invalid>
            <in_pkts_not_valid>0</in_pkts_not_valid>
            <in_pkts_not_using_sa>0</in_pkts_not_using_sa>
            <in_pkts_unused_sa>0</in_pkts_unused_sa>
            <in_octets_decrypted>223</in_octets_decrypted>
            <in_octets_validated>0</in_octets_validated>
            <tx_sa_an>1</tx_sa_an>
            <out_pkts_encrypted_protected>1</out_pkts_encrypted_protected>
            <out_pkts_too_long>0</out_pkts_too_long>
            <out_pkts_sa_not_inuse>0</out_pkts_sa_not_inuse>
            <out_octets_encrypted_protected>223</out_octets_encrypted_protected>
           </ROW_statistics>
          </TABLE_statistics>
         </__readonly__>
        </__XML__OPT_Cmd_some_macsec_secy_statistics___readonly__>
       </__XML__INTF_ifname>
      </interface>
     </statistics>
    </secy>
   </macsec>
  </show>
 </nf:data>
</nf:rpc-reply>
]]>]]>
```

例 7：MACsec の実行コンフィギュレーション情報を表示します。

```
switch# show running-config macsec | xml

!Command: show running-config macsec
!Time: Fri Jan 20 07:12:34 2017

version 7.0(3)I4(6)
****************************************
This may take time. Please be patient.
****************************************
<?xml version="1.0"?>
<nf:rpc xmlns:nf="urn:ietf:params:xml:ns:netconf:base:1.0" xmlns="http://www.cis
co.com/nxos:7.0.3.I4.6.:configure_" xmlns:m="http://www.cisco.com/nxos:7.0.3.I4. 6.:_exec"
 xmlns:m1="http://www.cisco.com/nxos:7.0.3.I4.6.:configure__macsec-poli cy"
xmlns:m2="http://www.cisco.com/nxos:7.0.3.I4.6.:configure__if-eth-non-member "
message-id="1">
  <nf:get-config>
    <nf:source>
      <nf:running/>
    </nf:source>
    <nf:filter>
      <m:configure>
        <m:terminal>
          <feature>
            <macsec/>
          </feature>
          <macsec>
            <policy>
              <__XML__PARAM__policy_name>
                <__XML__value>am2</__XML__value>
                <m1:cipher-suite>
                  <m1:__XML__PARAM__suite>
                    <m1:__XML__value>GCM-AES-XPN-256</m1:__XML__value>
```

```
                    </m1:__XML__PARAM__suite>
                  </m1:cipher-suite>
                  <m1:key-server-priority>
                    <m1:__XML__PARAM__pri>
                      <m1:__XML__value>0</m1:__XML__value>
                    </m1:__XML__PARAM__pri>
                  </m1:key-server-priority>
<m1:window-size>
<m1:__XML__PARAM__size>
                      <m1:__XML__value>512</m1:__XML__value>
                    </m1:__XML__PARAM__size>
                  </m1:window-size>
                  <m1:conf-offset>
                    <m1:__XML__PARAM__offset>
                      <m1:__XML__value>CONF-OFFSET-0</m1:__XML__value>
                    </m1:__XML__PARAM__offset>
                  </m1:conf-offset>
                  <m1:security-policy>
                    <m1:__XML__PARAM__policy>
                      <m1:__XML__value>must-secure</m1:__XML__value>
                    </m1:__XML__PARAM__policy>
                  </m1:security-policy>
                  <m1:sak-expiry-time>
                    <m1:__XML__PARAM__ts>
                      <m1:__XML__value>60</m1:__XML__value>
                    </m1:__XML__PARAM__ts>
                  </m1:sak-expiry-time>
                </__XML__PARAM__policy_name>
              </policy>
            </macsec>
            <interface>
              <__XML__PARAM__interface>
                <__XML__value>Ethernet2/1</__XML__value>
                <m2:macsec>
                  <m2:keychain>
                    <m2:__XML__PARAM__keychain_name>
                      <m2:__XML__value>kc2</m2:__XML__value>
                      <m2:policy>
                        <m2:__XML__PARAM__policy_name>
                          <m2:__XML__value>am2</m2:__XML__value>
                        </m2:__XML__PARAM__policy_name>
                      </m2:policy>
                    </m2:__XML__PARAM__keychain_name>
                  </m2:keychain>
                </m2:macsec>
              </__XML__PARAM__interface>
            </interface>

[TRUNCATED FOR READABILITY]

<interface>
              <__XML__PARAM__interface>
                <__XML__value>Ethernet4/31</__XML__value>
                <m2:macsec>
                  <m2:keychain>
                    <m2:__XML__PARAM__keychain_name>
                      <m2:__XML__value>kc2</m2:__XML__value>
                      <m2:policy>
                        <m2:__XML__PARAM__policy_name>
                          <m2:__XML__value>am2</m2:__XML__value>
                        </m2:__XML__PARAM__policy_name>
                      </m2:policy>
                    </m2:__XML__PARAM__keychain_name>
                  </m2:keychain>
```

```
            </m2:macsec>
          </__XML__PARAM__interface>
        </interface>
      </m:terminal>
    </m:configure>
  </nf:filter>
</nf:get-config>
</nf:rpc>
]]>]]>
```

MIB

MACsec は次の MIB をサポートします。

- IEEE8021-SECY-MIB
- CISCO-SECY-EXT-MIB

サポートされている MIB を検索してダウンロードするには、ftp：//ftp.cisco.com/pub/mibs/supportlists/nexus9000/Nexus9000MIBSupportList.html にアクセスします。

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
キーチェーン管理	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide』
システム メッセージ	Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS システム メッセージ リファレンス

関連資料

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。